

方そのものではないのか！と  
だ。果樹や植物に對峙し、全  
身で觀察し、真理を追求し

ようと真摯に研究を続けた先  
生の生きる姿勢そのものを歌つ  
たようにさえ思えてきた。

「もととしっかり覚悟決めて目の  
前の仕事に取り組んでみろ！」  
と、カウンターパンチでも食らつ  
たような気分になったのを覚え  
ている。

しかしもう、色紙に込めた意  
味を聞く渡部先生は鬼籍に入  
られ、これも私の思い込みの範  
疇でしかないのかもしれない。

大学で過ごした時間、経験は  
自分にとってかけがえのない宝  
となっている。渡部先生に出会  
えたことに感謝しかない。本當  
にありがとうございました。



## 令和元年度 代議員会報告

日 時 令和元年5月26日(日)

13時30分～15時15分

場 所 農学部1号館2F 大会議室

出席者 来賓含み41名出席

昭和25年	農科卒	(令和元年10月29日没)
昭和25年	林科卒	(平成30年7月没)
昭和26年	林科卒	(平成30年10月13日没)
昭和28年	農学科卒	(平成31年4月16日没)
昭和28年	農学科卒	(令和元年5月18日没)
昭和30年	農学科卒	(平成31年4月21日没)
昭和30年	農学科卒	(令和元年8月26日没)
昭和30年	林学科卒	(令和元年9月26日没)
昭和30年	林学科卒	(平成30年3月31日没)
昭和31年	農学科卒	(平成31年1月2日没)
昭和33年	農学科卒	(平成29年8月18日没)
昭和33年	農学科卒	(平成31年4月6日没)
昭和36年	林学科卒	(平成31年1月24日没)
昭和38年	農学科卒	(平成31年3月16日没)
昭和40年	農学科卒	(令和元年7月18日没)
昭和45年	農業工学科卒	(平成30年3月没)
昭和47年	農芸化学科卒	(平成30年9月24日没)
昭和48年	農学科卒	(令和元年6月25日没)
昭和52年	農学科卒	(平成31年2月24日没)
昭和55年	農業工学科卒	(令和元年7月30日没)
昭和57年	農業工学科卒	(平成30年9月30日没)
元教授	山形大学名誉教授	(令和元年11月16日没)

## 訃報

謹んで哀悼の意を表します。  
(ご逝去年月日)

書に記載されていない理由について説明が求められ、会計担当幹事は、各金融機関への預貯金額については口頭にて説明を行っており、また鶴窓会の会計システムの性質上、決算書記載の必要が無いものと判断しこれまで同様の対応としている旨の説明を行った。

また、敷田直右監事より、通帳預金額については各金融機関より残高証明を発行し、帳簿等と照合し間違いが無いことを確認している旨の説明がなされた。

庄内支部の長谷川篤夫氏より、退学者に対する会費の返金方法について、退学者からの申請が無い限り返金を行わない現行の方法に対し、代議員会での議論の有無等について説明が求められ、会計担当幹事は個人情報保護の観点から、大学から退学や留年した学生の情報を得ることが困難となつており、これらの情報を得るために事務的な負担を解消するため現行の方法に変更した旨の説明を行った。

長谷川篤夫氏より、特別会計積立金の預金額が大きいため、預金状況の開示の必要性について幹事会等で議論すべきとの提案がなされ、会計担当幹事は、特別会計積立金は前受金で、また先に説明したとおり鶴窓会の会計システムの性質上明確に示す場がないことから資料としてではなく口頭での説明としたが、今後については幹事会等にて議論する必要がある旨の回答を行つた。

長谷川篤夫氏は、口頭での説明ではなく、代議員会当日のみとする資料等での説明を求め、会計担当幹事は、

は、次年度以降に向けて今後検討する旨の回答を行つた。

議案は過半数以上の賛成により原案通り承認された。

### 【3】第3号議案 令和元年度事業計画(案) について

事務局長が令和元年度事業計画(案)について説明を行つた。

統いて審議に入り、庄内支部の柴田稔氏より、「山形大學農學部学生研究支援事業」に採択された研究成果の「鶴窓会だより」への掲載の可否について質問がなされ、事務局長は、採択情報については鶴窓会だより」について質問がなされ、事務局長は、協議の結果従前通り新支部設立後に会則の改訂を行うことで合意された。これについて齋藤博行副会長より、今後について、代議員会後に新支部設立等の至急の案件が発生した場合には、メール会議による幹事会を開催することにより対応したい旨の説明がなされた。

その後、議長は意見の集約を行い部設立時の経緯について説明がなされた。

庄内支部の長谷川篤夫氏より、退学者に対する会費の返金方法について、退学者からの申請が無い限り返金を行わない現行の方法に対し、代

議員会での議論の有無等について説明が求められ、会計担当幹事は個人情報保護の観点から、大学から退学や留年した学生の情報を得ることが困難となつており、これらの情報を得るために事務的な負担を解消するため現行の方法に変更した旨の説明を行つた。

長谷川篤夫氏より、新支部設立に際し、代議員数や幹事数に関する会則改訂の時期について質問がなされ、事務局長は新支部設立完了後に改訂を行う旨の説明を行つた。これについて、幹事会の開設に際し、代議員数や幹事数に関する会則改訂の時期について質問がなされ、事務局長は新支部設立完了後に改訂を行う旨の説明を行つた。

関東支部の眞嶋敏晴氏より、新支部設立に際し、代議員数や幹事数に

### 【4】第4号議案 令和元年度収支予算(案) について

事務局長が令和元年度収支予算(案)について説明を行つた。

庄内支部の眞嶋敏晴氏より、新支部設立に際し、代議員数や幹事数に

関する会則改訂の時期について質問がなされ、事務局長は新支部設立完了後に改訂を行う旨の説明を行つた。

関東支部の眞嶋敏晴氏より、新支部設立に際し、代議員数や幹事数に

### 【5】第5号議案 役員改選(案)について

事務局長が議案を説明、原案通り承認された。

庄内支部の眞嶋敏晴氏より、新支部設立予定の段階で会則を改訂すると、新支部設立が先送りになら

た場合に対応が難しいのではとの意見が出された。

福島県支部の松村正彦氏より、支

部設立時の経緯について説明がなされた。

その後、議長は意見の集約を行つた。これについて齋藤博行副会長より、今後について、代議員会後に新支

部設立等の至急の案件が発生した場合には、メール会議による幹事会を開催することにより対応したい旨の説明がなされた。

協議の結果従前通り新支部設立後に会則の改訂を行うことで合意された。

また、庄内支部の百瀬清昭氏が秋

に掲載しているが、研究成果については、事務局にて成果報告は受けているものの、研究という側面から公開出来ないため掲載していない旨の説明を行つた。

関東支部の眞嶋敏晴氏より、新支

部設立に際し、代議員数や幹事数に

関する会則改訂の時期について質問がなされ、事務局長は新支部設立完了後に改訂を行う旨の説明を行つた。

### 【6】その他

事務局長は第5号議案鶴窓会代議員及び幹事(案)に関し役員改選の流れについて説明を行い、議長に対し役員改選の進行を求めた。これを受け

田稔氏より、「山形大學農學部学生研究支援事業」に採択された研究成

果の「鶴窓会だより」への掲載の可否について質問がなされ、事務局長は、採択情報については鶴窓会だより」について質問がなされ、事務局長は、協議の結果従前通り新支部設立後に会則の改訂を行うことで合意された。

また、庄内支部の阿部重彰氏、佐藤晨一會長より同意する旨の意見が出された。

### 【7】第1号議案 平成30年度事業並びに活動報告について

事務局長が議案を説明、原案通り承認された。

関東支部の眞嶋敏晴氏より、通帳預金額等が決算

見が出された。

福島県支部の松村正彦氏より、支

部設立時の経緯について説明がなされた。

その後、議長は意見の集約を行つた。

福島県支部の松村正彦氏より、支

部設立等の至急の案件が発生した場合には、メール会議による幹事会を開催することにより対応したい旨の説明がなされた。

その後、議長は意見の集約を行つた。

また、庄内支部の百瀬清昭氏が秋

に掲載しているが、研究成果については、事務局にて成果報告は受けているものの、研究という側面から公開出来ないため掲載していない旨の説明を行つた。

長谷川篤夫氏より、会報送付につ

いて、会報印刷会社サラトから直接

発送されている分とそれ以外の発送

分の内訳について質問があり、会計担当幹事は名簿に記載されている会員の保護者、また現教員・旧教員等にも送付しており、部数は約1100

### 【8】その他

事務局長は代議員に対する審議を終了し、新任幹事の選出を要しました。

幹事会終了後、議長は代議員会を再開し、幹事会の結果を求めて、渡邊任幹事の審議、承認を求めた。これに

対し過半数以上の賛成により原案通り承認された。

これを受け議長は、代議員会を開催し新任役員の選出を要しました。

### 【9】第2号議案 平成30年度収支決算書の承認について

事務局長が議案を説明、原案通り承認された。

佐久間憲生会計担当幹事が議案を説明、敷田直右監事から監査報告が行われた。

統いて審議に入り、関東支部の眞嶋敏晴氏より、通帳預金額等が決算

### 鶴窓会事務局からのお知らせ

日 時 令和元年5月26日(日)

13時30分～15時15分

場 所 農学部1号館2F 大会議室

出席者 来賓含み41名出席

開会及び議事進行は渡邊一哉事務局長があつた。

議事に先立ち会長挨拶を佐藤晨一会長が行つた。また、林田光祐農

学部長、樋口浩朗校友会事務局長より御祝辞を頂いた。また、事務局長より、オブザーバーとして新潟県支部設立世話人の駒形信一氏が紹介され、御挨拶を頂いた。

議長に岡勝行氏、議事録署名人に阪口新一氏、長谷川篤夫氏を、議事録作成者に新井大輔氏を指名した。